

都市再生整備計画 事後評価シート

狭山中学校区地区

令和2年3月

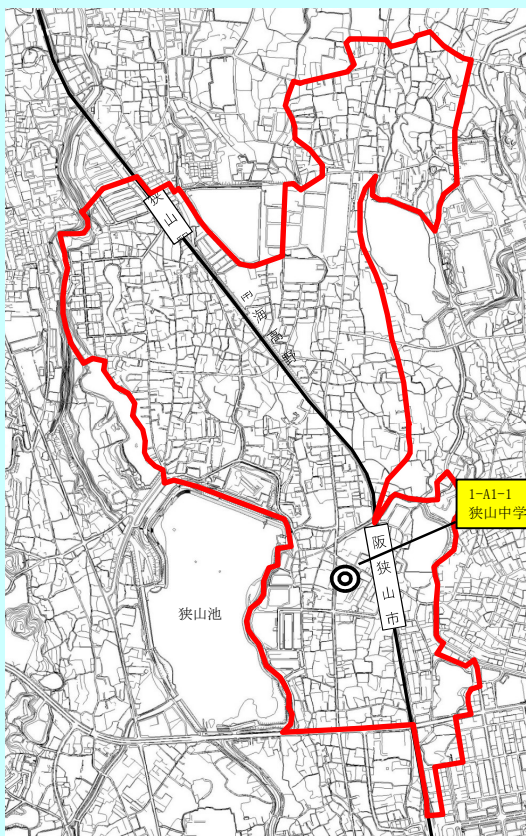
大阪府大阪狭山市

様式 2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	大阪府		市町村名		大阪狭山市		地区名		狭山中学校区地区			面積		222ha	
交付期間	平成29年度～平成30年度		事後評価実施時期		令和元年度		交付対象事業費		511.0百万円		国費率		0.4		
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路(市道狭山10号線)、地域生活基盤施設、高次都市施設												
		提案事業	地域創造支援事業												
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名					削除/追加の理由					削除/追加による目標、指標、数値目標への影響		
		提案事業													
	新たに追加した事業	基幹事業													
		提案事業													
	交付期間の変更	当初	平成29年度～平成30年度			交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響									
	変更	なし													
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
	指標1	子育てにやさしい環境づくりの満足度	%	21.8	平成25年度	30	平成30年度		31.6	○	あり なし	狭山中学校区では子育て支援施設の利用対象となる乳幼児を持つ家庭が最も多く、施設の整備により、充実した子育て環境を提供することができたと考える。			
	指標2	0～4歳人口(市内全体の住基人口)	人	2,375	平成26年度	2,475	平成31年度		2,572	○	あり なし				
	指標3	出生数(市内全体の住基人口)	人	435	平成26年度	512	平成31年度		443	×	あり なし ○	目標設定を高めたため未達成となっている。今後も本施設の整備により、子育て支援施策の一層の充実を図り、出生数の増加に結びつけていく。	令和2年5月		
	指標4	子育て世代活動支援センター利用人数(あそびの広場利用者数)	人/年	21,110	平成26年度	31,000	平成31年度		23,230	×	あり なし	平成31年1月の開館から年度末(平成31年3月)までの実績のため平成30年度としては未達成となっているが、令和元年12月までの1年間の実績では目標を達成している。	令和2年5月		
指標5										あり なし					
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期		
				基準年度		目標年度	モニタリング	評価値							
	その他の数値指標1	市内全体の住基人口	人	57,632	平成26年度				58,516			子育て支援施設や道路整備、情報案内版の設置などにより「生涯住み続けたいまちづくり」、「出産・子育てを支援して若い世代の定住を促す」などを推進したことも転入者の増加に寄与したと考える。			
	その他の数値指標2														
	その他の数値指標3														
4) 定性的な効果発現状況	・施設に隣接する狭山10号線について歩車分離の整備を行い、安全性を確保できた。 ・市立狭山中学校への進入路について幅員の拡幅と歩道を確保できた。 ・中学校や市役所、駅に隣接している立地条件を生かし、利便性の高い子育て世代活動センターの整備と施設への情報案内板を設置できた。 ・当該施設では地域子育て支援拠点としての機能に加え、広く世代間の交流ができるスペースも設けることができ、開館以来1階プレイルームは18,048人、2階は自習室は11,252人の来客があり、高次都市施設として機能していることが伺える。														
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等				
	モニタリング					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	住民参加プロセス					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									
	持続的なまちづくり体制の構築		市民ボランティアスタッフによる子どもの見守りと施設内に設置した図書館の企画等			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					● 今後も、市民との協働の観点から運営していくため取り組みを継続していく。				

様式 2-2 地区の概要

狭山中学校区地区(大阪府大阪狭山市)都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 「生涯住み続けたい」と思えるまちづくり 目標1 出産・子育てを支援して若い世代の定住を促す。 目標2 とともに学び世代をつないで人を育むまちづくりの推進のため、子育てにやさしい環境づくりに取り組みます。	子育てにやさしい環境づくりの満足度	%	21.8	平成25年度	30	平成30年度	31.6	平成30年度
	0-4歳人口	人	2,375	平成26年度	2,475	平成31年度	2,572	平成30年度
	出生数	人	435	平成26年度	512	平成31年度	443	平成30年度
	子育て世代活動支援センター利用人数	人／年	21,110	平成26年度	31,000	平成31年度	23,230	平成30年度



まちの課題の変化	狭山中学校南側の市有地について、駅前でありながら閑静であったが、施設の整備後は乳幼児を持つ子育て世代や中高生などの利用により活性化されてきた。本地域の子育て世代活動支援の象徴となる新たな拠点施設として、また幅広い年代の人々が親しみ集える場所として利用されている。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	多様なニーズに対応した保育サービスの向上や、きめ細やかな子育て支援サービスの提供を行い、出産・子育てを支援し若い世代の定住を促進していく。また、中学校や市役所、駅に隣接している立地条件を生かし、中学生をはじめとする幅広い世代間の交流ができるように、また、子育て世代だけでなく、幅広く市民に親しまれる施設をめざす。また、運営にあたっては、市民ボランティアの力を借りながら持続的なまちづくりを進めていく。